

先日、動物園に行ってきました。

動物たちをみていると心が癒される。優しい気持ちになる。自然と笑顔になる。なぜなのか

動物は自分の心の赴くままに行動している。本能で生きている。

人間は生物の進化の中で他の動物とは違う進化をしてきた。本能だけでは生きられない。損得勘定に執着してしまい、本能のままでは生きられない。

行動する前にあれこれ考えてしまう。悩み苦しみ、争いが起こる。

だから、本能のままに生きる動物たちの純粋な心に触れ、心が癒されるのではないか。しかし、動物は仏さまではない。仏さまには智慧があるが、動物には無い。

私たち人間の心には煩惱にまみれている。その煩惱の汚れを除き、智慧を獲得することが仏道修行。日々の生活の中で自分に向き合い、物事に向き合い、丁寧に生きていく。

それが禅の生き方、仏道修行。

善いと思ったことは考える前に行動。実践。

先日、塔婆を書くのを翌日に後回しにしたら、翌日に檀家さんが亡くなられたと連絡があり、葬儀の準備で塔婆が書けずにギリギリになってしまった。後回しにしなければ困ることはならなかった。

修証義には

「光陰は矢よりも迅かなり、身命は露よりも脆し、・・・

・・・徒らに百歳生けらんは恨むべき日月なり、悲しむべき形骸なり」

時間はあっという間に過ぎてしまう。だからだと過ごしてはもったいない。まずは実践していくことが大事。日々の行持。

疲れたら動物に触れて心を癒してみては。